

2020年3月6日

各 位

会 社 名	株 式 会 社 バ リ ュ ー デ ザ イ ン
代表者名	代 表 取 締 役 社 長 尾 上 徹 (コード 3960 :マザーズ)
問合せ先 担当者	常 務 取 締 役 林 秀 治
電話番号	03-5542-0088

<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○ 開催状況

開催日時	2020年2月21日(金) 17:15~18:15
開催方法	対面による実開催
開催場所	公益社団法人 日本証券アナリスト協会 兜町平和ビル分室 東京都中央区日本橋兜町 3-3 兜町平和ビル
説明会資料	株式会社バリューデザイン 2020年6月期第二四半期 決算説明資料

【添付資料】 1. 投資説明会において使用した資料

以上



2020年6月期第 2 四半期

決算説明資料

2020年2月13日
株式会社バリューデザイン

1 . 2020年6月期第 2 四半期 決算報告

2 . 事業の進捗状況

キャッシュレス還元等を背景にハウスプリペイド順調、売上・利益とも予想を超過。

連結売上高	： 1,216 百万円	前期比 +18.1%	進捗率 53.0%
連結営業利益	： 52 百万円	前期比 +73.6%	進捗率 97.6%

■ 2020年6月期 第2四半期トピックス

① キャッシュレス還元事業の開始も影響し、ハウスプリペイドの好調継続

- ・10月開始のキャッシュレス・消費者還元事業により同事業参加企業の取扱高は約60%増加
- ・2019年12月度は季節要因（年末商戦）も手伝い、取扱高が過去最高の514億円を記録
- ・還元事業継続に伴い、下期コスト増の可能性も見込まれるため、通期業績予想は据え置き

② 来期以降の成長に向け、大型案件の受注や新サービスの開発等も進む

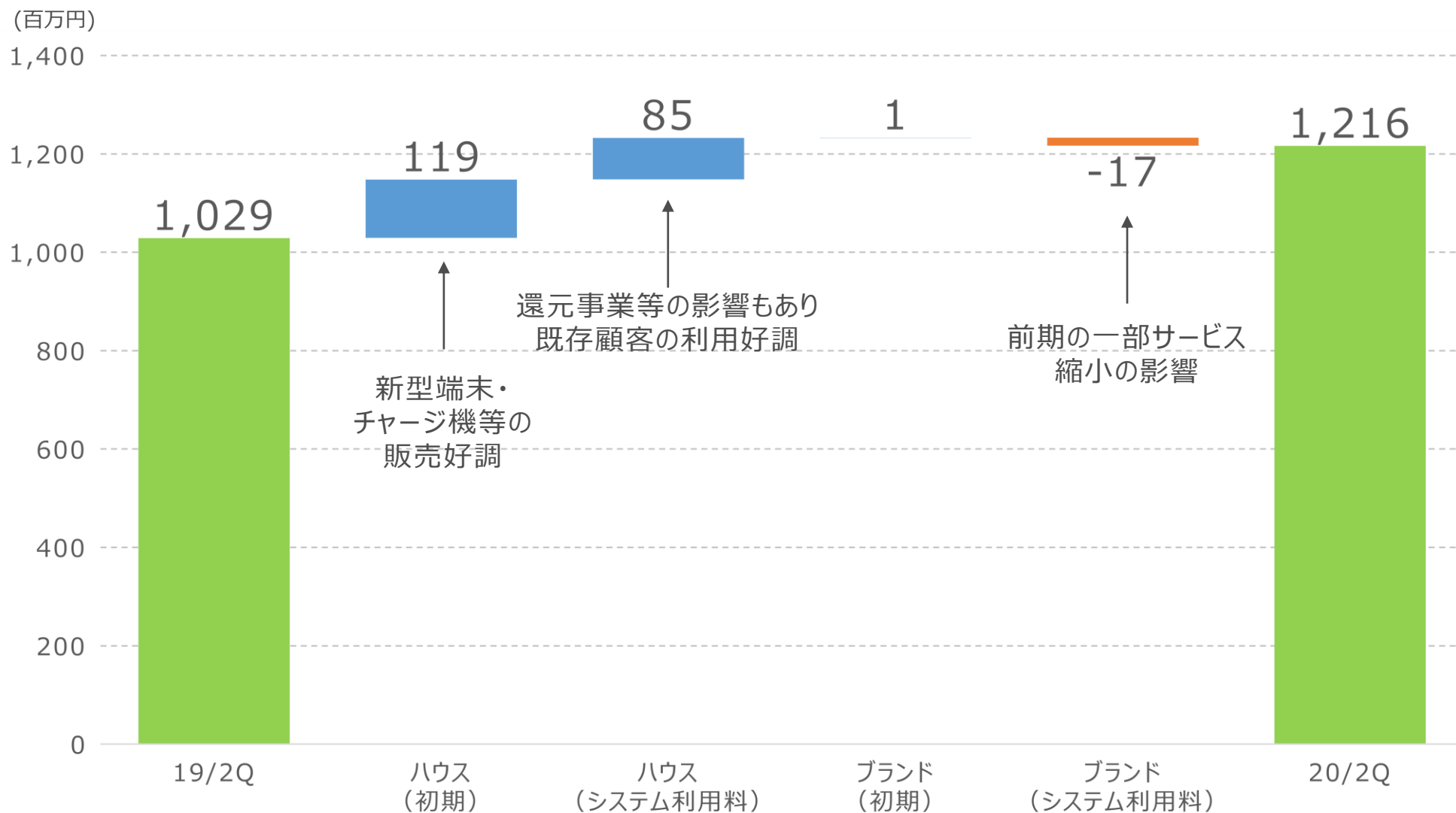
- ・重要カテゴリ（大型のスーパー/ホームセンター/飲食チェーン）顧客の新規受注も順調
- ・QR等コード決済接続は計9社の決済サービスに対応し、導入企業を順次拡大中
- ・導入企業での更なるプリペイド会員の増加、プリペイド利用促進に向けた施策も順次導入予定

連結P/L（2020年6月期 第2四半期）

初期売上32%・システム利用料売上10%増で予想もやや超過、各費用は概ね見込み通り
売上超過分が影響し、営業利益は通期の予想値付近に到達

	実績	前期比		通期進捗率		(百万円)
	① 2020年6月期 第2四半期 (実績)	② 2019年6月期 第2四半期 (実績)	前年同期比 (①÷②)	③ 2020年6月期 (予想)	進捗率 (①÷③)	
売上高	1,216	1,029	118.1%	2,295	53.0%	
（初期売上）	489	370	132.0%	813	60.1%	
（システム利用料売上）	727	659	110.3%	1,482	49.1%	
営業利益	52	30	173.6%	53	97.6%	
経常利益	49	22	219.6%	43	111.6%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	34	15	217.8%	1	3372.1%	

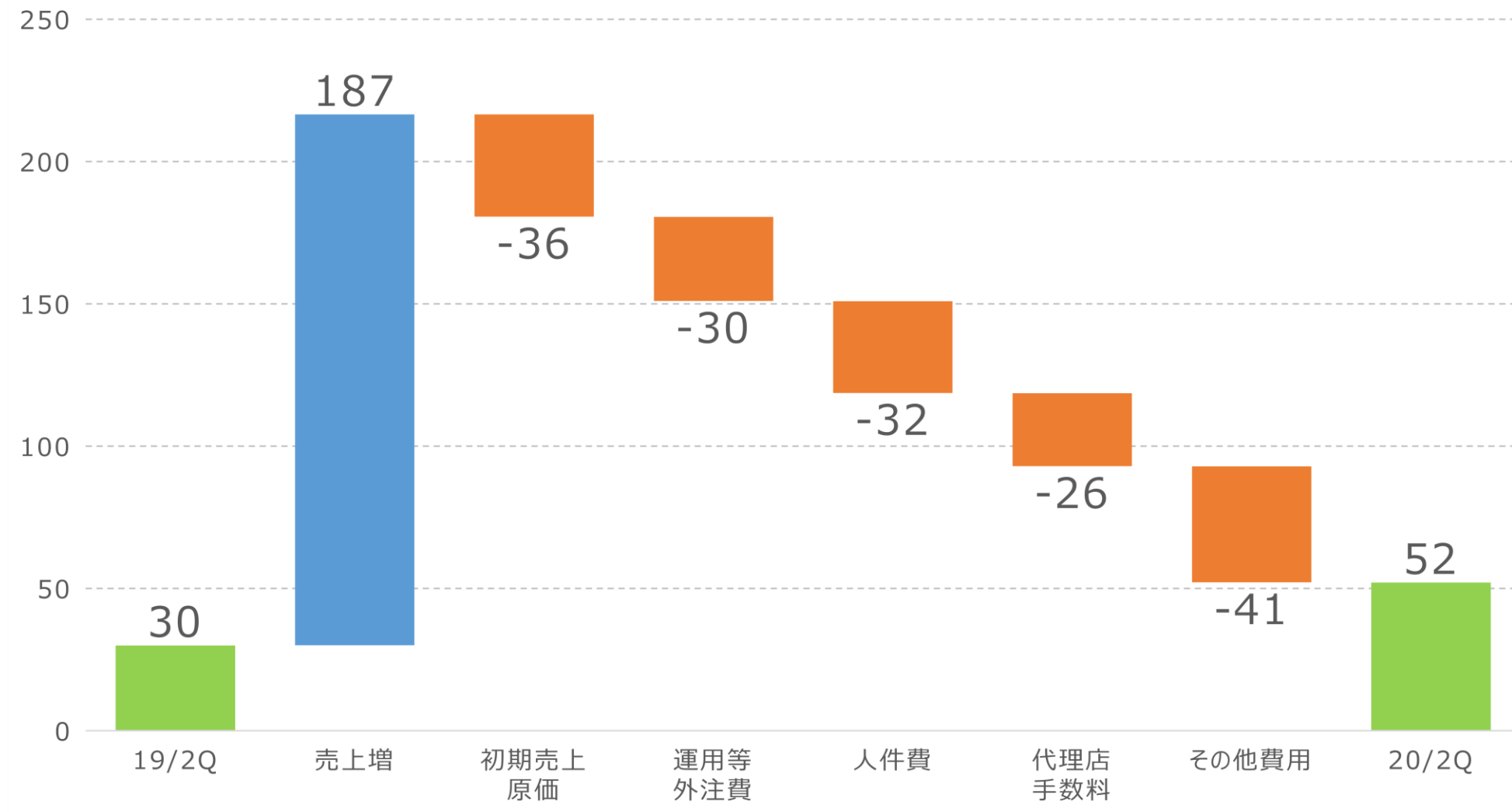
連結売上高の変動要因（前期比）



連結営業利益の変動要因（前期比）

増収効果で前期投資に伴う固定費の増分を吸収し、徐々に利益創出ができてきている状況

(百万円)



1 . 2020年6月期 第2四半期 決算報告

2 . 事業の進捗状況

事業別業績：ハウスプリペイド

新規受注・キャッシュレス還元事業の効果で売上は堅調に増加

セグメント利益は1Qに引き続き13期投資による固定費増（人材やオフィス環境等）の影響もあり微増

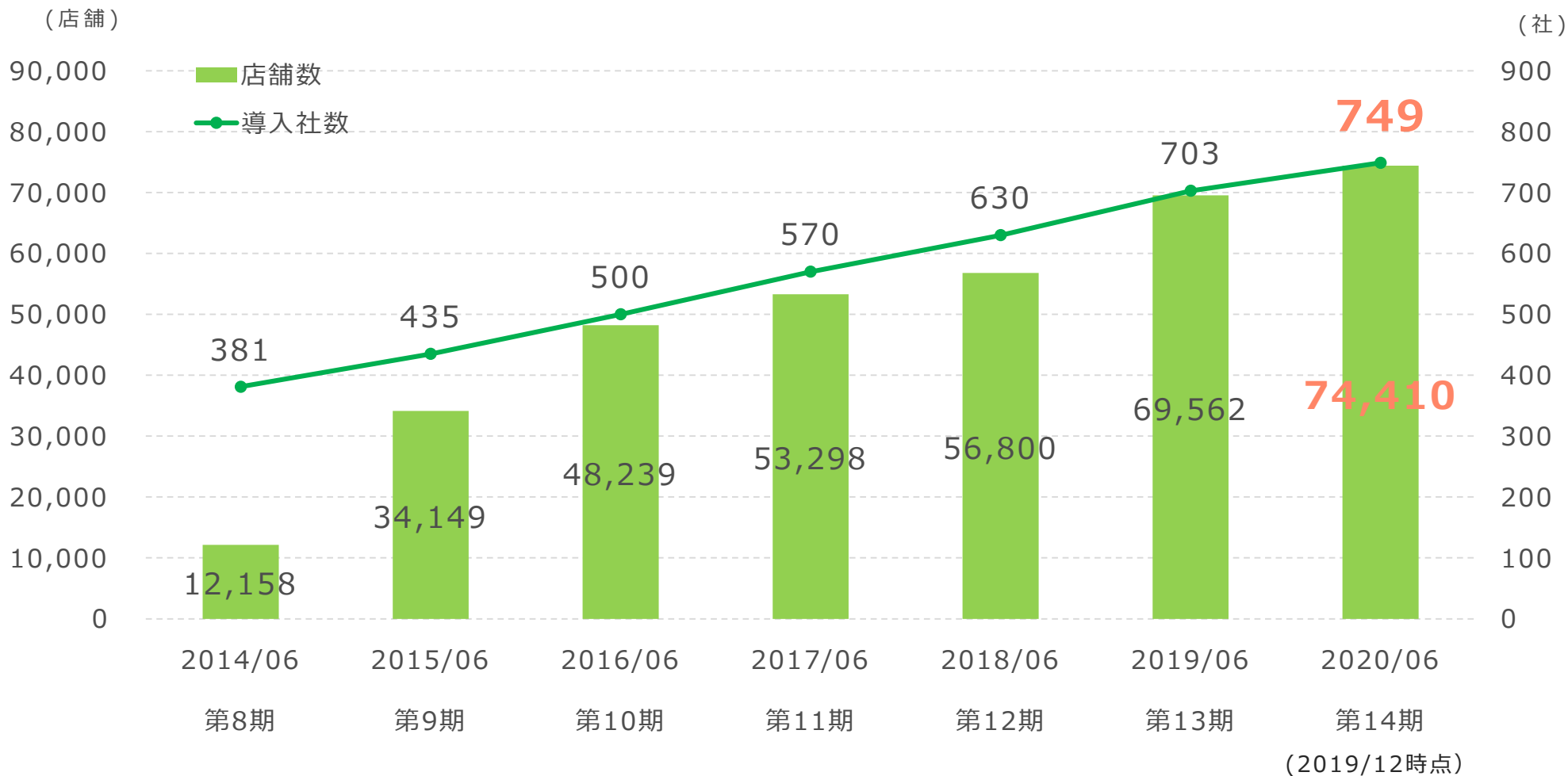
（百万円）

	① 2020年6月期 第2四半期	② 2019年6月期 第2四半期	前年同期比 (①÷②)
売上高	1,137	934	121.7%
（初期売上）	482	364	132.4%
（システム利用料売上）	655	570	114.8%
セグメント損益	232	215	107.8%

ハウスプリペイド事業の状況（店舗数・導入社数）

順調に拡大し、導入店舗数は7万店舗に到達、導入社数は749社

<累計導入店舗数の推移>

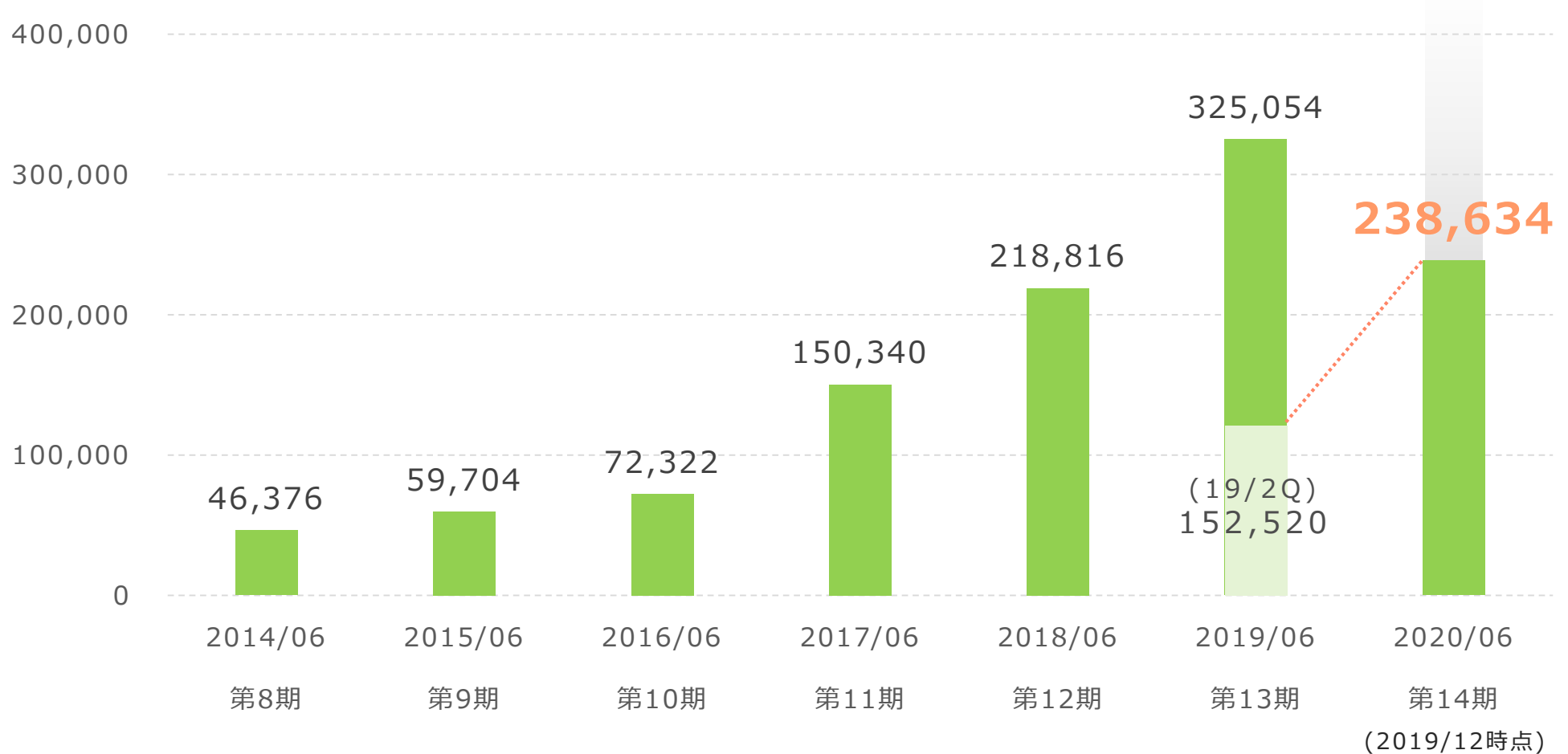


ハウスプリペイド事業の状況（取扱高）

年末商戦・キャッシュレス還元事業の影響により約2,380億円（前期比56.4%増）

<年間取扱高(=プリペイドチャージ額)の推移 ※海外含む>

(百万円)



今後の事業戦略（今後の当社サービスの基本方針）

これまではプリペイド利用者をターゲットとしてきたが、購買情報に基づく消費者コミュニケーション強化のため非プリペイド利用者(他決済手段の利用者)を含め、全体の40%～60%の消費者にターゲットを拡大する

優良顧客化

従来のターゲット

【プリペイド決済：20～30%】

継続的な高還元率やクーポン提供などで顧客との関係性を深め、リピート率や客単価を向上させる

今後のターゲット

【その他(現金他)決済：20～30%】

ポイント・クーポン等のサービスが利用できるアプリ会員へと誘導する
その上で、ポイント付与率のアップなど更なる利便性を提示しプリペイド決済を訴求する

ファン

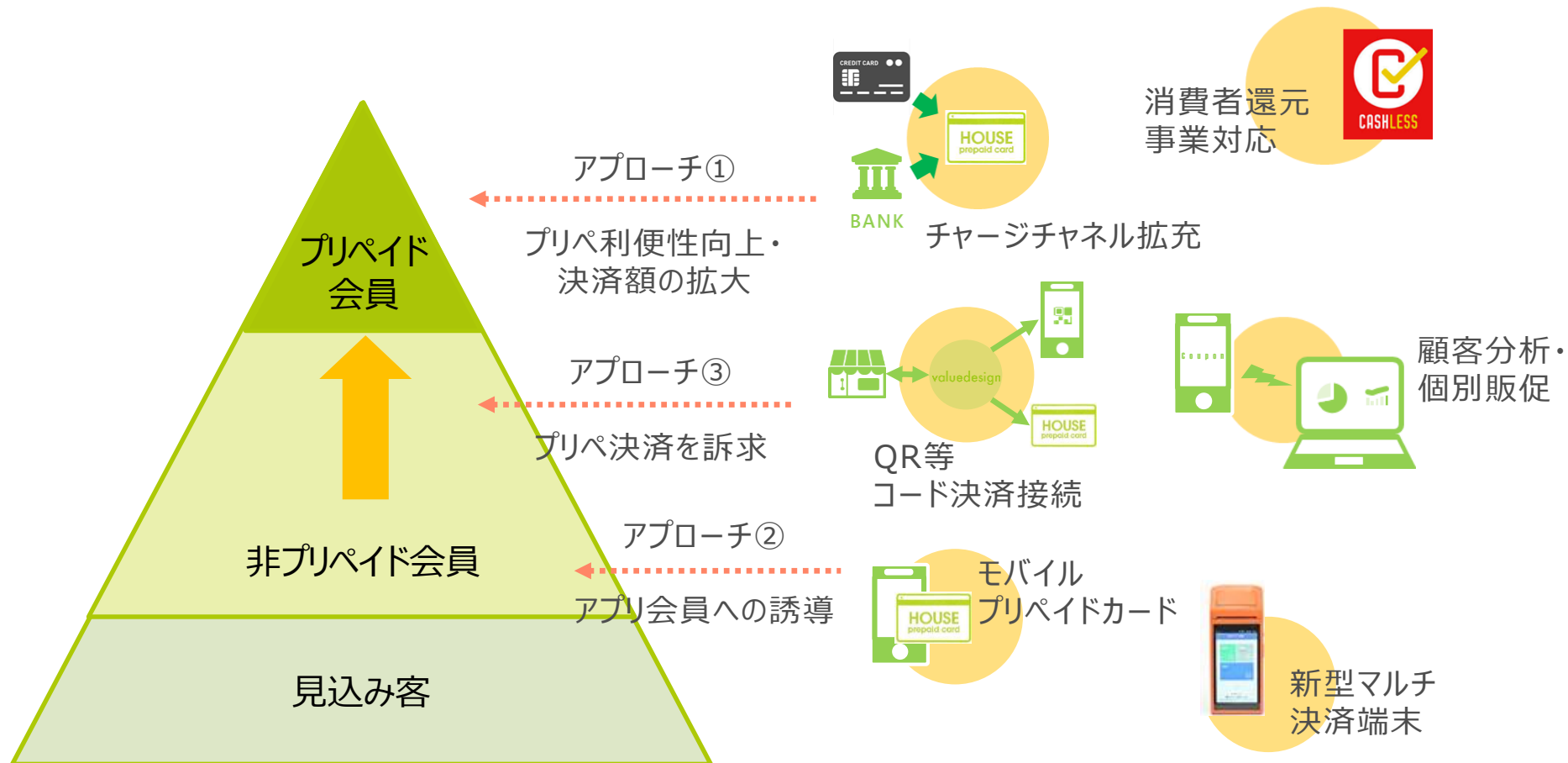
リピーター

新規顧客

見込み客

今後の事業戦略（消費者へのアプローチ）

今後、非プリペイド利用者に対しては「入り口」としてのアプリ会員サービスを提供、アプリ会員専用の販促施策を実施すると共に、プリペイド決済について提案し、最終的なプリペイド利用者の増加を図る



戦略の具体例（チャージチャネル拡充）

ハウスプリペイド成功の最重要要因はチャージ額。大規模なスーパーやホームセンター等生活に密着した業態での利用に最適なチャージ手段を用意することで、導入効果を最大化する

< 各種チャージ手段と特徴 >

	レジ	チャージ機	クレカ (Web/アプリ)	汎用ポイント チャージ	銀行口座 チャージ
	レジ待ちを長くしてしまうのがデメリット	店頭チャージの基本形 レジオペ影響しない	非店頭型 チャージ金額も大きくなる傾向	蓄積した汎用ポイントを専用サイトでチャージ	銀行口座からの直接チャージ
チャージの手軽さ	○	△	○	×	△
レジスピード	×	○	○	○	○
チャージ金額	△	○	○	△	○
店舗コスト	○	△	△	○	△

複数機種に
ハウスプリペ
標準搭載

対応機種
拡大し拡販中

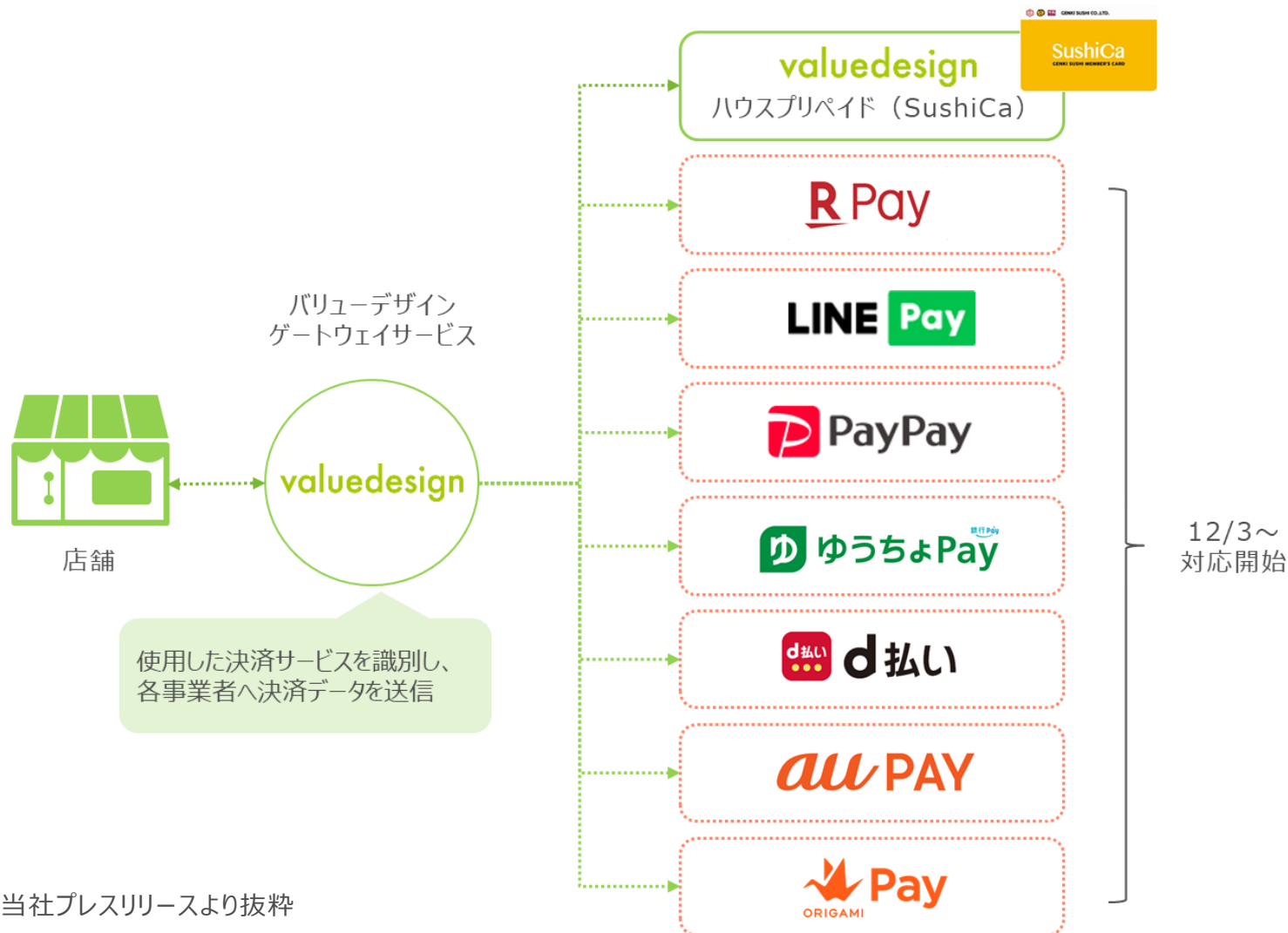
大型顧客では
標準的に

提携ポイント・
対象カード
順次拡大中

新規サービス
検討中

戦略の具体例（QR等コード決済接続）

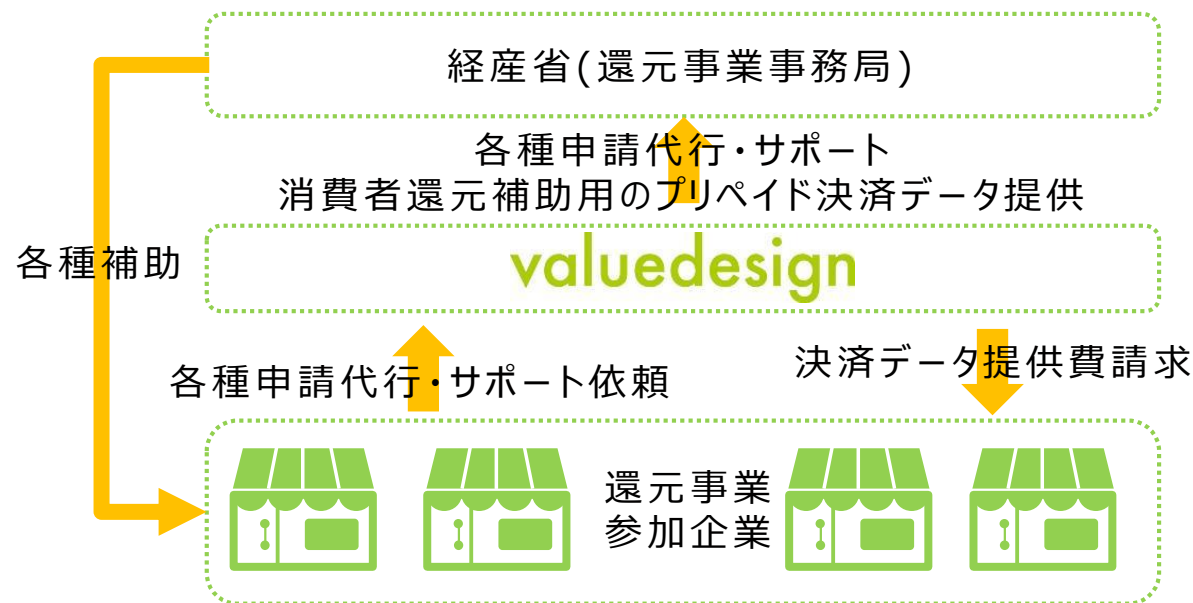
ハウスプリペイドと各種QR等コード決済を同時に導入できるシステム（ゲートウェイ）は12月末時点で9社の決済サービスに対応、導入店舗も増加中



2019/12/3 当社プレスリリースより抜粋

キャッシュレス・消費者還元事業への対応

2019年10月からの事業開始に伴い、当社顧客への事業参加のサポート業務を開始
各種申請サポートの他、消費者還元補助の受給に必要な決済データの作成・事務局への提供などを実施



補助項目	概要
消費者還元補助	各加盟店が、ポイントやハウスプリペイドで消費者へ還元した分に対する補助（最大で購買金額の5%）
決済端末補助	キャッシュレス決済導入にあたり、決済端末を新規購入する際の補助(購入金額の2/3)
事務経費補助	同事業の為の雇用者の人件費、申請代行の事務手数料等

当社提供の決済データを基準に参加企業は補助を受給

事業別業績：ブランドプリペイド

1Qから引き続き、既存サービスの一部縮小に伴う売上減が継続。今後の再成長に向けて、新サービス（給与前払・外国人向けプリペイド）関連事業者との協議・検討を実施中

（百万円）

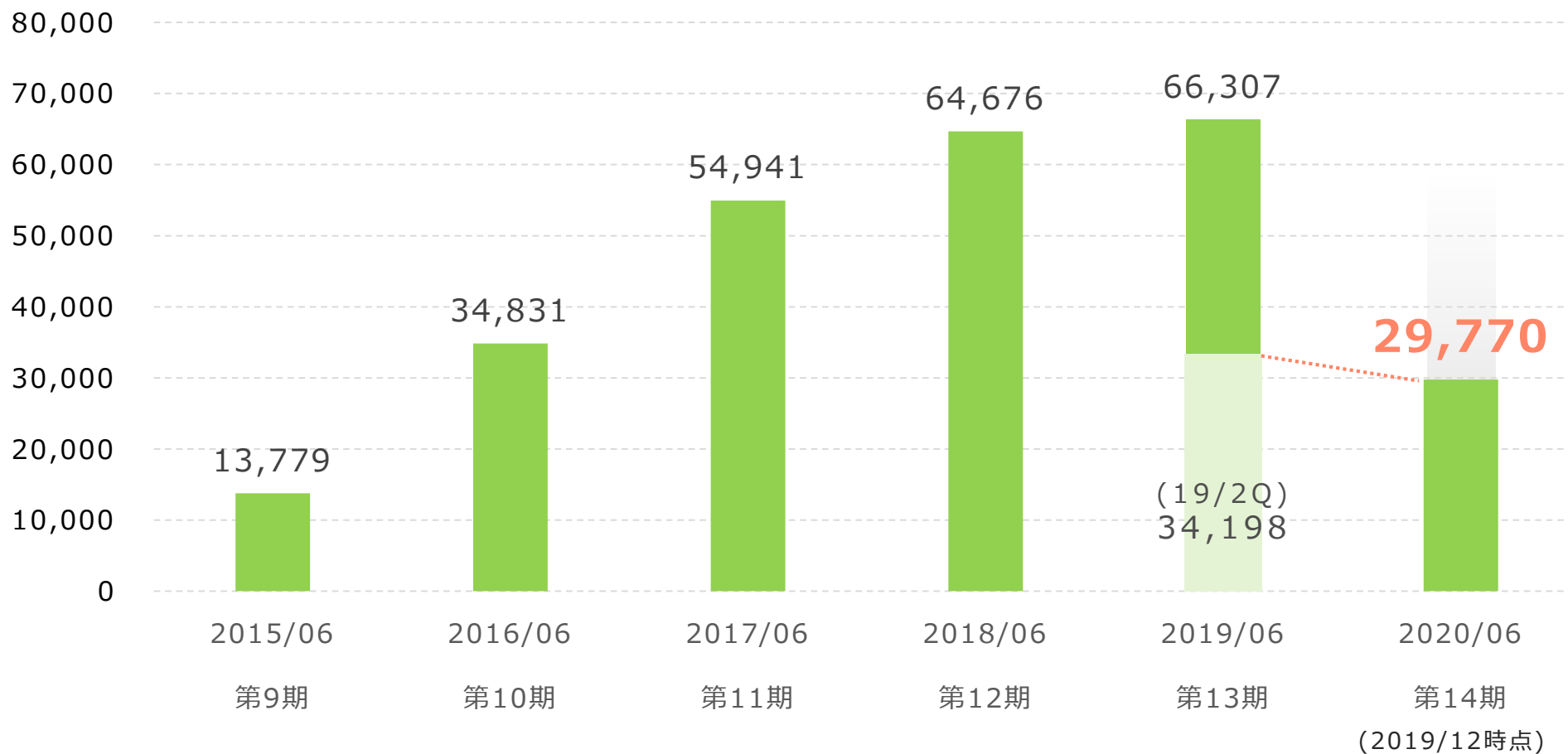
	① 2020年6月期 第2四半期	② 2019年6月期 第2四半期	前年同期比 (①÷②)
売上高	79	95	83.0%
（初期売上）	7	6	109.1%
（システム利用料売上）	72	89	81.3%
セグメント損益	-23	-4	-19百万円

ブランドプリペイド事業の状況（取扱高）

前期末のサービス一部縮小、及び12月の利用が前期同月より少なく、13.0%減

<年間取扱高(=プリペイドチャージ額)の推移>

(百万円)



事業別業績：海外

マレーシア・タイ等でそれぞれ20%程度システム利用料売上が増加、
インドではポイント交換サービスとの提携、マレーシアも新規サービスの開発等成長に向け仕込みを実施中

(百万円)

	① 2020年6月期 第2四半期	② 2019年6月期 第2四半期	前年同期比 (①÷②)
売上高	28	23	124.1%
(初期売上)	8	8	100.0%
(システム利用料売上)	20	15	137.6%
セグメント損益	-34	-33	-1百万円

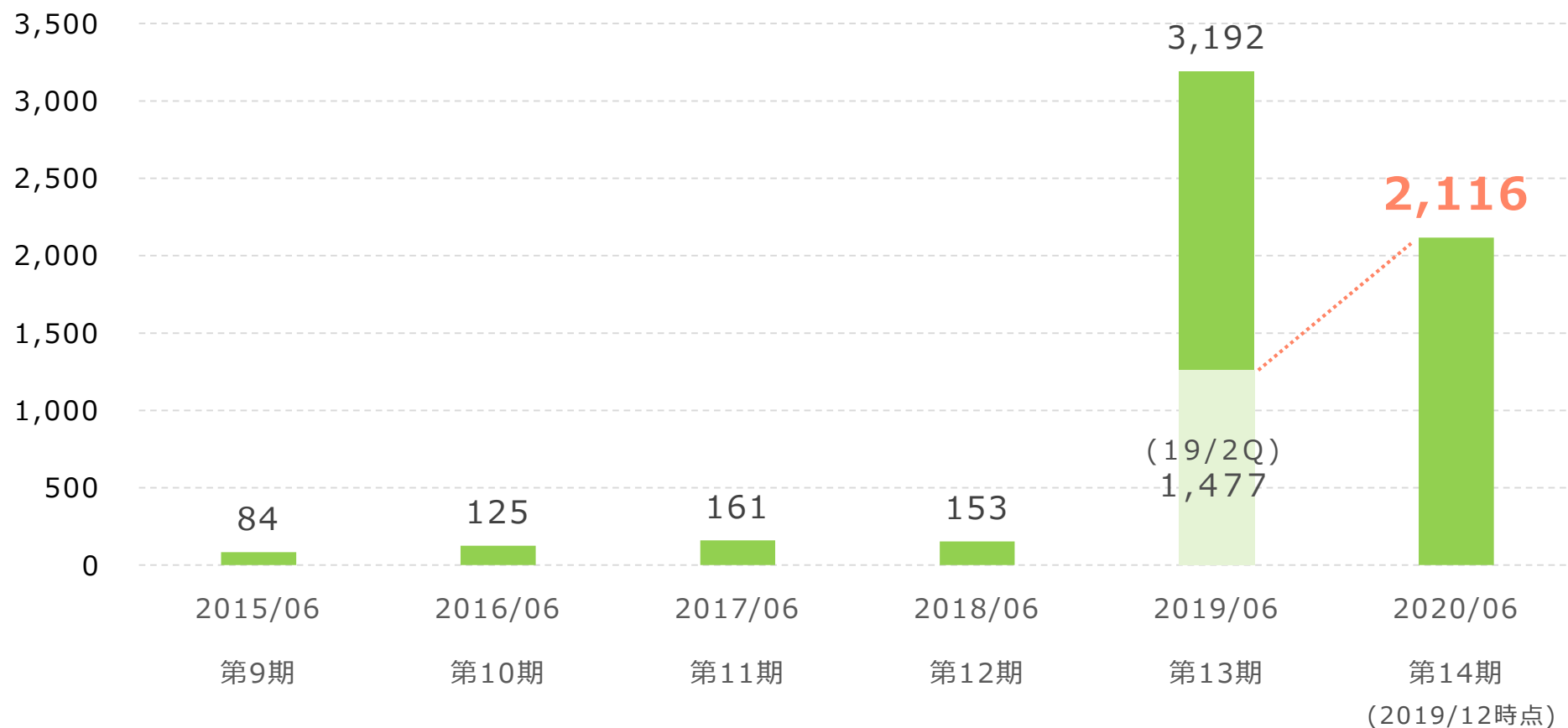
(注)海外は当社セグメント定義上ハウスプリペイドに属するため、当業績は前出のハウスプリペイドの業績に含みます。

事業別業績：海外

既存顧客における導入店舗増や入金キャンペーン等の効果により、前期比43.2%増

<海外単独の年間取扱高(=プリペイドチャージ額)の推移>

(百万円)



(注)海外は当社セグメント定義上ハウスプリペイドに属するため、当実績は前出のハウスプリペイドの実績に含みます。

本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は様々なリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開又は利用することはできません。